

Ⅱ 重点事項（北上市地域福祉活動計画 基本目標）の活動状況

基本目標１ 地域福祉を担う人づくり

- 市民福祉大会は、第30回の節目の大会であり、当協議会設立30周年記念事業に位置づけ、昨年度中止した表彰もあわせ２か年度分の表彰を行いました。
- 福祉成人祝賀会は、昨年度中止した祝賀会を行うこととし、今年の祝賀会と２日間にわたり開催しました。
- 敬老会事業は、新型コロナウイルス感染症対策として、開催方法を選択する形で行いました。なお、昨年度に続き、飲食を伴う祝賀会については、全地区で中止としました。
- 福祉協力員は、新型コロナウイルス感染症が拡大する中での活動となりましたが、コロナ禍により外出や交流の機会が減少した高齢者等に対する訪問活動等を行い、孤独感の解消やフレイル（運動や認知機能の低下）予防に努めました。

(1) 地域を支える側、支えられる側どちらの立場でも「お互いさまの気持ち」で地域をつくるという意識を醸成する機会をつくる

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 きたかみ社協だより発行事業 (1) きたかみ社協だより ① 発行回数：４回 （発行月：４月、７月、９月、２月の第４週金曜日に発行） ② 発行部数：151,333部 （１回 約37,800部）	社協だよりを全世帯に配布し、当協議会事業や福祉に関する情報を広く市民に提供し、意識の啓発を図りました。また、特集記事を掲載するなど紙面の構成を工夫し作成・発行しました。 なお、市の広報発行回数の変更にあわせ、社協だよりも発行回数を見直し・減少したことにより、掲載する情報量や適時性に制限が生じていますが、ホームページやFacebookページを有効に活用し可能な限り補完に努めました。 【指標】 広報発行 年10回
(2) ボランティア通信 ① 発行回数：２回（社協だよりに折込み） ② 発行部数：75,773部 （１回 約37,800部）	ボランティアに関する情報を収集し、「ボランティアみみより情報」として全世帯に配布し、ボランティア活動に関する意識の啓発を図りました。
(3) ホームページ等の運営、管理 ① ホームページアクセス数：15,498回 ② Facebookページアクセス数：1,752回	時機にあった情報提供・発信をするため、「きたかみ社協だより」とあわせ、ホームページを活用し幅広い広報活動を行いました。 また、令和３年度からFacebookページを開設したことにより、更に効果的・多角的な情報発信を行うことができました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 市民福祉大会 (1) 第30回北上市民福祉大会 ① 期 日：令和3年11月22日（月） ② 会 場：さくらホール（大ホール） ③ 参加者：360名 ④ 表 彰： 令和2年度24名、令和3年度63名 ・社会福祉事業功労者 16名（4名、12名） ・社会福祉奉仕功労者 43名（15名、28名） ・共同募金運動功労者 19名（なし、19名） ・褒賞（在宅介護者） 5名（3名、2名） ・褒賞（自立更生） 4名（2名、2名） ⑤ 記念講演 演題：「市民総参加の地域福祉のまちづくりについて」 講師：八戸学院大学健康医療学部 人間健康学科 教授 吉田 守実 氏 ⑥ オープニング映像上映 ・Kitakami Triple Anniversary2021 「KITAKAMI EMOTION」 （北上エモーション） ・北上市社会福祉協議会設立30周年 記念誌「歩んだ途（みち）」 ⑦ 出店販売 あけぼの、北上・西和賀地区障がい福祉施設製品販売連絡会、しらゆり工房、とばせ園、萩の江、北萩寮、ワークステーションきたかみ	支え合い誰もが安心して健やかに暮らせる地域社会を目指し、市民が一堂に会し、福祉向上の更なる努力を誓い合い、多年にわたり社会福祉の発展に寄与された方々を顕彰し、感謝の意を表することを目的として開催しました。 また、今大会を法人設立30周年記念事業として位置づけ、30周年記念式典をあわせて実施するとともに、昨年度新型コロナウイルス感染症対策のため中止した、令和2年度の被表彰者に対する表彰も行いました。 新型コロナウイルス感染症対策のため、規模縮小での開催となりましたが、地域共生社会の実現に向けて関係者の共通理解を図ることができました。 【指標】参加者900名
(2) 第74回岩手県社会福祉大会 ① 期 日：3年11月2日（火） ② 会 場：岩手県民会館（大ホール） ③ 表 彰：25名（北上市分） ・岩手県社会福祉大会長表彰 社会福祉事業功労者 1名 永年勤続功労 1名 ・岩手県社会福祉大会長褒賞 在宅介護者 1名 民生委員・児童委員 1名 ・岩手県民生委員児童委員協議会長表彰 永年勤続民生委員・児童委員 23名	県内の社会福祉関係者が一堂に会し、共に生き、共に支え合う福祉社会の実現を目指し、関係者が共通理解を深めるとともに、多年にわたり社会福祉の発展に寄与された方々を顕彰し、感謝の意を表しました。 なお、新型コロナウイルス感染症対策のため規模を縮小しての開催となり、当市関係者の参加も最小としました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
3 福祉成人祝賀会 (1) 令和3年（令和2年度） ① 期 日：4年1月8日（土） ② 会 場：ブランニュー北上 ③ 参加者：46名（うち新成人5名、家族7名） ④ 内 容：記念写真撮影、式典 アコーディオン演奏 (2) 令和4年（令和3年度） ① 期 日：4年1月9日（日） ② 会 場：ブランニュー北上 ③ 参加者：78名（うち新成人16名、家族23名） ④ 内 容：記念写真撮影、式典 アコーディオン演奏	心身に障がいを持つ成人者とその家族を対象に、自立と社会参加の促進、今後の活躍を祈念し式典を実施しました。 今年度は、昨年度新型コロナウイルス感染症対策のため中止した令和3年の祝賀会も実施することとし、令和4年祝賀会と2日間にわたり開催しました。 新型コロナウイルス感染症対策として式典のみの開催とし、参集者など規模を縮小しての実施となりましたが、新成人に祝意が伝わるよう進行を工夫して行いました。 【指標】出席率100%

事業名、内容及び実績	成果や課題等
4 敬老会事業への支援【市交付金事業】 ① 実施箇所数：59地区 ・ 記念品配付 55地区 ・ 開催自粛 4地区 ② 該当者：13,671名	新型コロナウイルス感染症対策により、祝賀会は全地区で中止とし、地域の実情にあわせて開催方法を選択する形で行いました。また、例年同様、北上市の交付金に加え、当協議会からも助成金を交付し、実施を支援しました。 市において敬老会に関するアンケート調査が行われたことから、その結果をもとに今後の敬老会の方向性等について協議を進めます。 【指標】出席率30%

事業名、内容及び実績	成果や課題等
5 地域福祉懇談会 ① 期 間：3年6月28日から7月9日 ② 参加人数：283名 ③ 実施箇所：11カ所（支部別参加人数） ・ 黒沢尻北 33名 ・ 黒沢尻東 23名 ・ 黒沢尻西 18名 ・ 立 花 27名 ・ 飯 豊 33名 ・ 二 子 19名 ・ 更 木 31名 ・ 黒 岩 17名 ・ 口 内 20名 ・ 稲 瀬 21名 ・ 相 去 41名 ※鬼柳、江釣子及び和賀支部は、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。 3支部の地域の方々には資料を配布し、紙面による意見聴取を行いました。 回答数 ・ 鬼柳15名 ・ 江釣子27名 ・ 和賀7名	地域福祉計画並びに地域福祉活動計画の中間検証を行うため全支部で開催しました。 両計画の進捗状況や課題、今後の取り組み等について説明し、計画に対する意見や地域おける福祉課題など今後の福祉活動を推進する上で参考となる情報や意見等を伺うことができました。 幅広い年代、市民に参加していただけるよう開催方法の検討や若い世代との懇談を実施します。 【指標】参加者700名

事業名、内容及び実績	成果や課題等
6 あいさつ運動推進事業 ① 黒沢尻東地区 実施期間：3年4月7日～4月30日 のぼり旗設置：13カ所（通学路、公民館等） ポスター掲示：50枚（行政区掲示板、公民館等） チラシ配布：370枚（地区内回覧） ② 黒沢尻西地区 実施期間：3年4月9日～4月30日 のぼり旗設置：33カ所（公民館、主要道路等） ポスター掲示：12枚（行政区掲示板、公民館等） チラシ配布：249枚（地区内回覧） ③ 二子地区 実施期間：3年4月27日～5月31日 のぼり旗設置：7カ所（交流センター、小学校等） ポスター掲示：17枚（自治会掲示板、小学校等） チラシ配布：1,100枚（全戸配布） ④ 更木地区 実施期間：3年4月8日～5月7日 のぼり旗設置：8カ所（主要道路、小学校等） ポスター掲示：20枚（自治会掲示板等） チラシ配布：40枚（地区内回覧） ⑤ 口内地区 実施期間：3年4月5日～5月31日 のぼり旗設置：1カ所（交流センター） ポスター掲示：9枚（公民館等） チラシ配布：72枚（地区内回覧） ⑥ 稲瀬地区 実施期間：3年4月23日～5月28日 のぼり旗設置：8カ所（公民館、主要道路等） ポスター掲示：10枚（公民館等） チラシ配布：248枚（全戸配布） ⑦ 相去地区 実施期間：3年4月6日～5月31日 のぼり旗設置：8カ所（主要道路等） ポスター掲示：3枚（交流センター等） チラシ配布：10枚（地区内回覧） ⑧ 鬼柳地区 実施期間：3年4月7日～5月31日 のぼり旗設置：22カ所（交流センター等） ポスター掲示：4枚（交流センター、小学校） チラシ配布：109枚（地区内回覧）	地域のつながりを深めるため、家庭や地域で意識的に“あいさつ”を行う強化月間を設定し、隣近所との助け合い精神を醸成しました。 また、運動を推進するために必要な資機材（のぼり旗、横断幕、チラシ、ポスター）を準備し、取組地区をはじめ、市民に対する意識啓発を図りました。 未実施の地区に対しては、地域の既存の取組みと併せて実施する方法等を提案し、取組地区を拡大します。 【指標】取組地区10カ所

事業名、内容及び実績	成果や課題等
⑨ 江釣子地区 実施期間：3年4月1日～4月30日 のぼり旗設置：5カ所（交流センター、通学路等） ポスター掲示：1カ所（支部事務室） チラシ配布：200枚（地区内回覧）	

事業名、内容及び実績	成果や課題等
7 社協出前講座（講師派遣事業） ① 派遣回数：6回 ・小学校：2回 ・中学校：1回 ・一 般：3回 ② 参加人数：延べ406名 ③ メニュー登録数：13 （北上市出前講座登録数）	地域や学校からの要請に応じ、当協議会事業の概要や福祉・ボランティア活動等の講演を行い、福祉に関する学習や研修の支援を行いました。 新型コロナウイルス感染症の影響により、講座の依頼件数が減少傾向にありますが、その中でもキャップハンディ体験を通じて児童・生徒に福祉やボランティア活動に対する理解が図られました。 【指標】 派遣20カ所、参加人数延500名

(2) 元気高齢者や退職者などの新たな担い手を視野に入れた地域福祉を担う人材の開拓と企業等とのボランティア活動の連携強化

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 ボランティア講座 ① ボランティア発見講座【基礎編】 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止 ② ボランティア活動応援講座 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止	福祉やボランティアに関する知識と感心を深め福祉意識の向上を図り、「支え合い」の心を育むことを目的として、学生及び一般向けの講座を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。 【指標】 参加者数 中高生50名、一般50名

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 福祉協力員活動事業（住民グループ支援事業） 【市委託事業（一部）】 (1) 委員会 ① 期 日：3年4月14日（水） ② 会 場：北上市総合福祉センター ③ 参加者：14名 ④ 内 容： ・2年度事業報告及び収支決算について ・3年度事業計画及び収支予算について ・3年度総会及び全体研修会について (2) 総会及び全体研修会 ① 期 日：3年5月11日（火） ② 会 場：さくらホール大ホール ③ 参加者：201名	改選期により約半数が新任となったことから、新任者が安心して活動ができるよう、委嘱状交付式にあわせて福祉協力員の役割や活動内容等について説明を行うとともに、支部単位でも研修を行いました。 新型コロナウイルス感染症が拡大する中での活動ではありましたが、地域福祉活動の推進役として要援護者に対する見守りや訪問活動に加え、福祉サービスの利用や福祉に関する情報提供に努めるとともに、ふれあいデイサービス事業協力者や小地域ネットワーク活動構成メンバーとして、民生委員児童委員及び関係機関と連携を図りながら、誰もが安心して暮らせるまちづくりを積極的に推進しました。 また、北上市から受託している救急医療情報キ

事業名、内容及び実績	成果や課題等
④ 内 容： ア 総会 ・委嘱状交付 ・2年度事業報告及び収支決算について ・3年度事業計画及び収支予算について イ 全体研修会 ・演題：「生活困窮者支援に係る相談支援の現状について」 講師：北上市社会福祉協議会 相談支援課長 菊地里枝 氏 ・演題：「きたかみいきいき体操でフレイル予防」 講師：北上市福祉部長寿介護課 包括支援係主任保健師 住吉 香奈子 氏 (3) 役員研修会 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止 (4) 訪問活動 ① 福祉協力員数：334名 ② 活動回数：延べ88,373回 ※詳細はP35参照	ット配布事業は、70歳以上の一人暮らし高齢者の新規対象世帯に加え、前回の配布以降に新たに一人暮らしとなった高齢者への配布も行いました。 【指標】充足率100%

事業名、内容及び実績	成果や課題等
3 ボランティア活動センター事業 (1) 運営委員会の開催 ① 期 日：3年9月30日（月）12名出席 4年3月14日（月）10名出席 (2) ボランティア登録者数：157名（個人）	新型コロナウイルス感染症対策により、各種ボランティア活動に制限がある状況でしたが、ボランティア活動を希望する方の相談に応じ、当協議会で行っているボランティア活動、また、感染症対策を行いながら継続して活動している団体のボランティア活動に関する情報提供を行い、マッチング及び登録の推進を図りました。 【指標】ボランティア活動実践者個人200名
(3) ボランティア保険 ① 加入者数：3,186名 ② 事故件数：0件	ボランティア活動の事故に備えるとともに、安心してボランティア活動ができるようボランティア保険への加入を促進しました。 なお、ボランティア活動中の事故はありませんでした。
(4) ボランティア活動情報ボード事業 ① 掲示登録団体：10団体 ② 掲示依頼枚数：6枚	情報ボード（さくらホール、生涯学習センター、総合福祉センター）を設置し、ボランティア及びNPO団体の情報発信を支援しました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
(5) 日曜大工ボランティア 活動：0件（申請依頼0件）	一人暮らし高齢者、障がい者の自宅の小修繕等に対するボランティア派遣ですが、活動件数はありませんでした。 技術を持つボランティアの確保に努め、必要な方に支援ができるよう事業の周知を行います。
(6) 企業等の地域貢献活動との連携 ① 東北緑生株による庭木の剪定活動 実施世帯 3世帯 ※新型コロナウイルス感染症対策により実施を見合わせた令和2年度分を実施。 ② 企業からの相談に対する情報提供 6件 ③ 黒沢尻工業高校課題研究への協力 保育施設の遊具修繕活動 4施設	新型コロナウイルス感染症対策により、活動を控える企業もありましたが、企業からのボランティア活動や地域貢献活動の相談に応じ、支援を必要としている方や団体とのマッチングや情報提供を行いました。 また、黒沢尻工業高校機械科生徒による課題研究の取組みに対して、市内保育施設に遊具修繕活動の周知や募集等の協力をしました。 【指標】企業との連携6社
(7) ボランティア登録者研修会 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止	ボランティア活動センター登録ボランティア等を対象に、ともに支え合う地域社会づくりの推進を図ることを目的に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
4 福祉人材R e スタート事業 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止	ホームヘルパー等の資格があり、結婚や出産、介護や育児等のために離職した方を対象に、現行制度の説明や居宅実習を行い、介護技術の振返りなど再就職に向けた講座を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。 【指標】年1回実施

(3) 子供のころからの福祉教育を大切にし、各関係機関と連携強化のうえ、子供たちに福祉について“ふれる”機会を増やす

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 ハウスクリーニング☆プロジェクト ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止	子ども達が夏休みや休日を利用し、一人暮らし高齢者や高齢者夫婦世帯、障がい者世帯を訪問して家の清掃ボランティア活動を行い、活動を通して、訪問先の方や参加者同士の世代交流を深めることを目的に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。 【指標】実施12地区

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 いきいきショップ☆ゆめいちば ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止	障がい者施設への訪問による事前交流や障がい者施設で作られている商品の販売を高校生と施設利用者が一緒に行い、お互いの理解を深めることを目的に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。 【指標】実施 年1回

事業名、内容及び実績	成果や課題等
3 車いす修理ボランティア事業 ① 車いす修理ボランティア実施校： 黒沢尻工業高校 ② 修理車いす台数：11台	黒沢尻工業高校の生徒が、利用されなくなった車いすを修理・整備し、この活動を通して、福祉やボランティア活動について理解を深めることができました。また、車いす技術講習会は昨年度に引き続き実施校毎に開催され、生徒は細かな技術指導を受けることができ、修理技術の向上も図られました。 なお、社協だよりに事業を掲載し、市民への周知を図り、中古車いすや使用済み切手の寄付を呼びかけました。 【指標】修理台数15台

事業名、内容及び実績	成果や課題等
4 児童・生徒のボランティア活動に係る情報交換 学校・社協・地域ボランティア活動の取組みの周知	各学校・社協・地域で行っているボランティア活動一覧をもとに、市内の小学校・中学校・高校に対して出前講座等で紹介を行いました。 一方、新型コロナウイルス感染症の影響により、アンケート調査及び情報交換会は実施できませんでした。 【指標】情報交換会 年1回実施

基本目標 2 地域福祉を支えるネットワークづくり

- 避難者生活支援センター事業は、支援対象者の関係機関へのつなぎ等、センターの閉所・事業の収束に向けて事業展開を行いました。
- 小地域ネットワーク活動では、北上市が実施している地域除排雪制度と連携し、一人暮らし高齢者世帯等、自力で除雪を行うことが困難な方に対して、地域の協力をいただきながら除雪活動を推進し、生活支援を行いました。
- コミュニティソーシャルワーカー活動事業及び生活支援コーディネーター活動事業では、関係機関との会議等を通じて情報収集・共有を図り、アウトリーチ活動の強化を意識して地域・支部訪問等を行いました。

(1) 生活課題を抱える誰もがSOSを出しやすく、そして地域住民や関係機関等がSOSを受け止めるネットワークとしくみづくり

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 ふれあいのまちづくり事業及び地域住民グループ支援事業(小地域ネットワーク活動) (1) 通年活動 ① ネット数：14支部、345ネット ② 中心者会議：40回開催 ③ 協力者会議：351回開催 ※詳細はP35～36参照 (2) 除雪活動 ① 対象世帯数：587世帯(ネット対象者と重複有) ② 協力者数：699名(ネット対象者と重複有) ③ 活動回数：11,531回(ネット対象者と重複有)	小地域を単位として、要援護者が安心して生活できるよう、地域の実情に応じた体制により、見守り活動や安否確認等の支援活動を行いました。 また、一人暮らし高齢者世帯や高齢者のみ世帯が増加している中、自力で除雪を行うことが困難な方に対して、地域で除雪活動を行いました。 なお、北上市が実施している地域除排雪制度について、北上市と連携し改善を図りながら地域の除雪体制の支援を行いました。 協力者の高齢化や不足している地区があることから、特に除雪活動は中高生など新たな担い手の確保方法等を検討します。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 避難者生活支援センター事業 【県社協委託事業】 ① 生活支援相談員1名 ② 相談活動件数：90件 ③ 状況把握活動件数：72件 ④ サロン事業 ・てんどの会、ふるさとカフェ(合同)：7回、78名 ・黒沢尻アパートラジオ体操：215回 925名 ⑤ イベント事業 ・干支の置物づくり講座：13名 ・作品展示会：来場者135名 出展者23名、作品数150点 ※詳細はP36～37参照	避難者世帯の巡回訪問、状況把握及び生活相談業務を通じ、避難者の抱える生活課題の把握や助言等を行いました。 なお、岩手県における令和3年度以降の被災者支援の方向性等を踏まえ、北上市の施策やサービス、当協議会事業や活動において支援を行うこととし、令和3年度をもって当センターを廃止しました。 閉所に向けては、支援対象世帯ごとに課題等を整理し、関係機関など“つなぎ先”を検討や確保するとともに、役割分担等の協議を行いました。

(2) 社協がこれまで培ってきた小地域での福祉ネットワークを生かした地域支援体制の強化

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 コミュニティソーシャルワーカー（CSW）活動事業 ① 配置人数：4名（兼務） ② 有資格者数：9名 ③ 相談件数：30件（生活環境、生活困窮、除雪等） ④ 訪問件数：21件（個別ケース対応） ⑤ 訪問活動：30回（支部、事業所等） ⑥ ケース検討会：12回 ⑦ CSW会議：8回 ⑧ その他：107回（出前講座対応、研修受講等）	定期的にCSW会議を開催し、ケース検討や対応の進捗状況を確認・情報共有するとともに、関係機関の会議に出席し、情報収集等を行いました。 また、生活支援コーディネーターやひきこもり相談支援員、暮らしの自立支援センターきたかみ職員等と連携し、課題を抱えた世帯への相談支援活動を行いました。 今後も、小地域ネットワーク活動の会議等に参加するなど積極的にアウトリーチ活動を行いながら、地域課題の把握や解決を行います。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 生活支援コーディネーター活動事業 【市委託事業】 ① 配置人数：1名 ② 有資格者数：3名 ③ 相談件数：6件（除雪、生活課題等） ④ 訪問件数：2件（個別ケース対応） ⑤ 訪問活動：4回（支部、事業所等） ⑥ ケース検討会：7回 ⑦ SC会議：10回 ⑧ その他の活動：56回（養成講座、研修等）	第1層コーディネーター（北上市、社協）と第2層コーディネーター（地域包括支援センター）の定例会議に出席し、活動状況や課題等を協議し情報共有を行ったほか、第1層コーディネーター間で事業実施に係る協議等を行い、事業の推進を図りました。 今後は、更にアウトリーチ活動を強化し、高齢者の生活支援ニーズや地域課題の把握を行うとともに、担い手の活動のマッチングを行います。 【指標】 養成研修受講者3名

(3) 地域内の事業所や施設、企業と一体となったネットワークによる情報共有

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 広域社協事業 (1) 令和3年度北上・和賀広域社協総会 ① 期 日：書面審議 ② 出席者：10名（うち北上社協5名）	2年度事業報告及び収支決算報告、3年度事業計画及び収支予算について、書面審議の方法により総会を行いました。
(2) 令和3年度北上・西和賀地区民生委員・児童委員研修会 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止	民生委員児童委員の資質向上を図るため、県南広域振興局花巻保健福祉環境センターと協働により研修会を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。
(3) 北上・和賀広域社協役職員研修会 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止	役職員の資質向上及び北上市、西和賀町両社協の情報交換を目的に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。
(4) 第36回北上・和賀地区ボランティアの集い ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止	北上市及び西和賀町の地域や施設等でボランティア活動をしている方、又は始めようとしている方等を対象に、地域福祉等について相互に学習することを目的に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。

基本目標 3 充実した福祉サービスの仕組みづくり

- なんでも心配ごと相談センター及び暮らしの自立支援センターきたかみでは、新型コロナウイルス感染症の影響により生活に困窮した方々に対する相談に引き続き対応しました。
- 新たに「ひきこもりサポート事業」を北上市から受託し、相談窓口の設置など市内のひきこもりに関する支援を包括的に行いました。
- 新たに「生活困窮者自立相談支援機能強化事業」を北上市から受託し、積極的にアウトリーチ活動を行い、支援が必要な方等の情報把握を行いました。
- 介護保険事業では、要支援認定を受けた方の介護保険から市総合事業への移行に伴う支援を行うとともに、新型コロナウイルスの感染によって、特に重症化しやすい要介護高齢者や障がい者に対して、万全の感染対策を講じながら支援しました。
- 子どもの学習支援事業や地域まるまる食堂（子ども食堂）事業は、新型コロナウイルス感染症の中で制限はありましたが、ボランティアの協力をいただき実施することができました。なお、中止となった回は、つながりを絶やさないよう世帯訪問活動を行いました。

(1) 必要な人に必要なサービスを届けるため、身近なところでどんなことも相談できる体制づくり

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 なんでも心配ごと相談センター事業 ① なんでも心配ごと相談センター ・北上市総合福祉センター 月曜日～金曜日 9:00～17:00 (司法書士相談) 毎月第2、4木曜日 13:00～16:00 ② 開設日数：243日 ③ 相談人数：597名（うち司法書士相談2回、2名） ④ 相談件数：延べ1,625件 ※詳細はP38参照	市民が抱える日常生活の様々な相談に対し、解決へのアドバイスや専門機関及び関係機関への紹介を行いました。新型コロナウイルスの影響に伴う生計に係る相談は昨年度と比較して減少しましたが、全体の相談件数に占める割合が多いことから引き続き相談対応が必要です。 また、複雑な課題を抱えた相談が増えていることから、関係機関や専門職と更に連携を強化します。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 なんでも心配ごと出張相談事業 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止	市民が抱える日常生活の様々な相談に対し、身近な場所で相談することができるよう出張相談会を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。 相談者のニーズに応じて訪問する等、アウトリーチの強化を図ることとし、令和3年度をもって事業を廃止しました。 【指標】出張相談会 年4回

事業名、内容及び実績	成果や課題等
3 相談員スキルアップ事業 ① 開催回数：4回 ② 内容： ・社協の貸付制度等について ・ひきこもり支援について ・高齢者虐待と権利擁護について ・相談員の基本倫理と基本姿勢、支援方法を判断する視点について ③ 参加人数：延べ38名	相談員の資質向上を図るため、内部研修を実施し、相談員として必要な知識を学ぶことができました。 複雑な課題を抱えた相談者等に対して適切な相談対応ができるよう、継続的に研修を実施し資質向上に努めます。 【指標】内部研修会 年3回

事業名、内容及び実績	成果や課題等
4 トータルガイドブック作成事業 北上市内の福祉サービス等を集約した冊子を作成しています。	あらゆる相談に対して適切な対応や専門機関への橋渡しを行うため、北上市内の民間も含めた関連サービス(フォーマル・インフォーマルサービス)をまとめた冊子について、既存の情報を更新し関係機関等へ配布しました。 冊子での情報更新は随時行うことが難しいため、ホームページ掲載版を定期的に更新します。 【指標】作成・配布

事業名、内容及び実績	成果や課題等
5 ひきこもりサポート事業【市委託事業】 ① ひきこもり相談支援員1名 ② 相談窓口の設置 ・相談人数：35名 ・相談内容：不登校、就労、長期ひきこもり、家族関係など ・対応件数：延べ200回 ・ピアサポーター登録者数：2名 (ピアサポーター：自身の経験を活かして、同じ境遇にある仲間をサポートする人) ③ 居場所の設置運営 ・開設日数：253日 ・利用者数：延べ1,979名 (うち新規利用者数323名) ・居場所支援員会議：11回 ・ピアサポーター登録者数：3名 ④ 家族相談会 ・実施回数：10回 ・参加者数：延べ79名	新たにひきこもりサポート事業を受託し、ひきこもりに関する支援を包括的に行いました。 ひきこもりに特化した相談窓口を設置し、家族や関係機関からの相談に対して、個々の状況に応じた相談対応や情報提供を行いました。 また、誰でも安心して過ごすことができる常設の居場所を設置し、小学生から高齢者まで幅広い年代の方々が、利用者同士の交流や社会とのつながりの場として利用しました。 そのほか、家族相談会の開催を通じて家族の悩みや当事者の様子等を伺うことができ、活動の参考とすることができたとともに、北上市ひきこもりネットワーク協議会と連携した事業により、ひきこもりに関する周知・啓発を行うことができました。 SOSを出せない当事者など相談までつながらない方に対するアプローチの方法を検討・研究します。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
⑤ 北上市ひきこもりネットワーク協議会 ・協議会への参加：2回 ・ワーキンググループへの参加：2回 ・障がい者理解促進啓発講演会 日 時：3年11月6日(土) 会 場：日本現代詩歌文学館 参加者：200名(オンライン参加含む) 内 容：講師 筑波大学大学院教授 斎藤 環 氏 北上市のひきこもり対応に関 するパネルディスカッション ※詳細はP38～39参照	

(2) すべての人にとって偏りのないサービスの充実を図るため、新たなサービスの開拓と既存サービスの随時見直し

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 日常生活自立支援事業・成年後見推進支援事業【県社協委託事業】 ① 専門員及び生活支援員数 ・専門員 2名、生活支援員 12名 ② 北上基幹社協管内生活支援員会議等 ・生活支援員会議 1回 ③ 契約件数及び支援状況等 ・契約件数(今年度)：12件 ・契約件数(累 計)：154件(支援中66件) ・専門員訪問回数：216回 ・支援員支援回数：762回 ※詳細はP39参照	金銭管理の難しい認知症高齢者及び障がい者等から預貯金通帳や印鑑を預かり、公共料金の支払いの手続き、生活費の払い戻し等のサービスと福祉サービスを利用するために必要な手続き等を支援しました。なお、特に高齢の利用者が多いことから、新型コロナウイルス感染症対策を徹底して対応しました。 また、成年後見制度の普及啓発と利用促進を図るため、引き続き相談窓口の設置や社協だより掲載による普及啓発を行いました。 利用者に対して適切な支援を実施する上で、北上市が中核機関として設置した北上市権利擁護支援センターや医療機関・障がい者相談支援事業所等の関係機関との情報共有、連携強化を図ります。

④ 契約件数(市町別)

	令和4年3月末日 実利用者	契約件数
北 上 市	46	122
西和賀町	20	32
計	66	154

⑤ 契約件数(対象者別)

契約者 事 項	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計	うち 生活保護
契約件数	94	36	22	2	154	
実利用者	32	21	13	0	66	17

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 車いす及びチャイルドシート貸出事業 (1) 車いす ① 利用者数：延べ55名 ② 保有台数：11台 (2) チャイルドシート ① 利用者数：16名 ② 保有台数：46台（うち寄付台数：31台） （今年度寄付：1台）	利用希望者に対して希望どおり貸出しを行うことができ、障がい者や高齢者、子育て世帯の社会参加や移動の一助となりました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
3 在宅高齢者等配食サービス事業【市委託事業】 ① 利用登録者数：28名 ② 配食日数：196日 ③ 提供食数：延べ2,457食 ④ 調理ボランティア人数：延べ697名 ⑤ 配送ボランティア人数：延べ1,010名 ※詳細はP39参照	在宅で調理の困難な一人暮らし高齢者、高齢者のみの世帯に対して、調理及び配送ボランティアの協力をいただき、栄養のバランスが取れた食事の提供、安否確認及び孤独感の軽減を図りました。 また、季節に応じた献立作成や行事食を実施するとともに、保育園給食との献立交換を通じて、園児と高齢者がお互いに食べることの楽しみと関心を高めました。 新たなボランティア登録者もあり、安定して事業が実施できました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
4 北上おげんき発信事業 利用登録者数：13名 ※詳細はP40参照	見守りが必要な高齢者等を対象に、毎日の電話での安否確認による見守りを行い、不安の解消につなげました。 また、必要に応じて小地域ネットワーク活動による見守り体制を構築する等、利用者の生活状況にあわせた支援につなげました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
5 障がい者等生活支援事業【市委託事業】 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止	視覚障がい者の自立生活を支援することを目的に、飲食店の方等を講師に招いて料理教室を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。 今後は、当事者団体等からニーズ聴取を行い、市と協議しながら内容の検討・開発を行います。 【指標】 参加者10名

事業名、内容及び実績	成果や課題等
6 声及び点字広報作成事業【市委託事業】 ① 声の広報作成事業 ・朗読内容及び回数 広報きたかみ 12回 福祉だより 4回 市議会だより 4回 敬愛園だより 11回 ふれあい119 2回 物故者 12回 月刊さくらホール 12回 ・総発送数：延べ528回 ・利用者数：18名、3施設 ・朗読団体：サークルのぎく 12名 サークルせきれい 12名	広報きたかみや福祉だより等の掲載内容を声の広報（CDまたはカセットテープに録音）として作成し、視覚障がい者に情報提供しました。 また、録音した声の広報をボランティア会員内で確認し、音読の速さや発音等の技術の向上に努めました。
② 点字広報作成事業 ・点訳内容及び回数 広報きたかみ 12回 ・総発送部数：24部 ・利用者数：2名 ・点字作成団体：北上点訳の会 17名	広報きたかみを点訳し、点字広報として視覚障がい者に情報提供しました。 また、点訳ミスの有無等について、随時ボランティア会員同士で確認する等、技術の向上に努めました。
(3) 声の広報・点字広報利用者とボランティアの交流会 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止	声の広報・点字広報利用者と音声訳・点訳ボランティアが一堂に会し、情報交換や意見交換・交流を深めることを目的に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
7 居宅介護支援事業 契約者数：45名 ※詳細はP40参照	要介護者の心身の特性を踏まえ、個人の保有能力、介護者の介護力等の評価等を行いながら、介護支援計画を作成するとともに、その都度必要なサービスの見直しを行いました。また、当協議会の特性を活かし連携を図りながら、困難ケースについても対応・支援を行いました。 引き続き、きたかみ型地域包括ケアビジョンの方針に沿いながら、サービス事業者等と更に連携を図り、利用者の在宅生活等を支援します。 【指標】継続実施

事業名、内容及び実績	成果や課題等
8 障がい者相談支援事業 契約者数：25名 ※詳細はP40参照	障がい者や保護者、介護者等の相談に応じ、利用者が希望する生活を実現するため、必要なサービスの情報提供や社会資源を活用しながら利用者の抱える課題解決を行い、社会生活力の向上に向けて障がいの特性に沿ったサービス等利用計画を作成しました。また、新型コロナウイルス感染症に係る対応として、訪問面接から電話聞き取り方法

事業名、内容及び実績	成果や課題等
	に切替えてモニタリングを実施しました。 引き続き、障がい者が自立した生活を送ることができるよう、医療機関や障がい福祉サービス事業者等と連携し、北上市障がい者プランに沿った事業を実施するとともに、高齢障がい者の介護保険制度へのスムーズな移行など切れ目なくサービスが利用できるよう支援します。 【指標】継続実施

事業名、内容及び実績	成果や課題等
9 訪問介護事業 (1) 訪問介護事業（介護保険） ① 契約者数：21名 ② 利用者数：延べ264名 ③ 派遣回数：2,242回 ※詳細はP41参照	要介護者が自立した日常生活を送ることができるよう、入浴、排泄、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を行い、利用者に関わるケアマネジャー、地域包括支援センター、医師及び訪問看護師等の他職種・他事業所との連携を図り、自立した在宅生活が継続できるよう支援しました。 なお、高齢化の進行によりサービス量の増加が見込まれる中で、全国的にも介護人材が慢性的に不足となっており、当事業所としても訪問介護員の増員・採用が困難なため、随時募集方法の見直しや検討を行います。 【指標】継続実施
(2) 障害者訪問介護事業（障害者総合支援法） ① 契約者数：30名 ② 利用者数：延べ314名 ③ 派遣回数：3,073回 ④ 同行援護従事者養成研修（一般課程） ・3年10月25日～27日 ・修了者8名 ※詳細はP41参照	障がい者が自立した日常生活を送ることができるよう、一人ひとりの心身の状況に応じて、身体介護、家事援助、通院介助、同行援護、その他生活全般にわたる援助を行い、在宅での生活を支援しました。 また、視覚障がい者に対する外出等の移動支援の充実を図るため、同行援護従事者養成研修を実施し、県内の介護サービス事業所等で勤務する同行援護従事者を養成しました。 【指標】継続実施

事業名、内容及び実績	成果や課題等
10 障害者等移動支援事業（障害者総合支援法） ① 契約者数：8名 ② 利用者数：延べ22名 ③ 派遣回数：38回（買物、趣味活動等） ※詳細はP41参照	障がい者の外出及び余暇活動等の移動を支援しました。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響に伴いイベントや行事等の中止、また、外出を自粛する利用者もおり、派遣回数の低下が続いています。 【指標】継続実施

事業名内容及び実績	成果や課題等
11 成年後見利用支援事業 受任者数：1名（保佐人1名）	認知症、知的障がい、精神障がい等で判断能力の不十分な方が、日常生活を送る上で契約や財産管理について不利益を被ることがないように、当協議会が成年後見人として、受任者の生活を支援しました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
12 訪問理美容事業 （ふれあいのまちづくり事業） ① 利用者実数：29名 ② 利用回数：43回（理容店39回、美容店4回）	外出が困難な寝たきり高齢者や重度障がい者の希望者に対し、岩手県理容及び美容生活衛生同業組合北上支部や民生委員児童委員の協力を得て、自宅を訪問し理容・美容（整髪）を行いました。 事業を必要とする方が利用できるよう、社協だよりや支部活動を通じて更に周知を行います。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
13 住まいの片づけ応援事業 ① 相談件数：4件 ② 訪問件数：4件 ③ 事業対象世帯の情報収集：14支部訪問	自宅または敷地内にごみが放置され、生活に支障がある世帯を対象に、地域や近隣との関係を構築しながら、地域で安心して生活することができるよう生活環境の改善を支援しています。 相談のあった世帯へ訪問調査を行いました。が、事業の対象に該当しなかったことや、親族や関係機関で実施したこともあり、実際の清掃活動はありませんでした。 【指標】随時実施、実態把握調査の実施

(3) 同じ悩みを抱えている人、目的をもった人同士の集まりの場づくり

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 ふれあいデイサービス事業【市委託事業】 ① 開設行政区：125行政区 ② 開設ふれデイ箇所：142箇所 ③ 実施回数：延べ618回 ④ 利用者数：延べ7,835名（参加率9.5%） ⑤ ふれデイ協力者数：延べ3,123名 ※新型コロナウイルス感染症対策のため、集合型は5/14～10月末まで、また、1/24～3月末まで中止。 集合・訪問活動ともに、1/24～3月末まで中止。 ※詳細はP42参照	新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、地域の自治公民館等を会場に、高齢者の介護予防活動（趣味活動、レクリエーション活動等）を実施し、高齢者の生きがいづくりや社会参加、孤独感の軽減等を図りました。 今年度は、コロナ禍においても感染防止に配慮した事業実施ができるよう、北上市と連携して「新型コロナウイルス感染防止に配慮したふれあいデイサービスの運営ガイドライン」を作成し、従来の開催方法に加えて、新たに訪問活動による声がけ・見守り活動を行いました。 今後は、広い世代の参加による地域づくりの場としての活用を検討します。 【指標】参加率35%

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 障害者地域活動支援センター事業 【障害者総合支援法】 ① 創作活動及び機能訓練：6 教室 ② 契約者数：43名 ③ 開催回数：56回 ④ 利用者数：延べ327名 ※詳細は P 42 参照	障がい者の自立の促進、生活の向上が図られるよう、通所による創作活動及び機能訓練のサービス提供を行い、障がい者の社会参加と福祉の増進を図りました。 【指標】 契約者数70名

事業名、内容及び実績	成果や課題等
3 障がい者リフレッシュ事業 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止	心身に障がいを持つ方を対象に、仲間とのふれあいや親睦、社会参加の促進や生きがいを高めることを目的に実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。 【指標】 行事開催 年 1 回

事業名、内容及び実績	成果や課題等
4 子育て支援事業 (1) 子育てサロン ① 開催回数：5 回【毎月 1 回(第 3 木曜日、10時から正午)】 ② 会 場：北上市総合福祉センター ③ 参加者数：延べ43名 ④ ボランティア活動人数：延べ33名 (2) 子育て用品お譲り会 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止 ※詳細は P 42 参照	子育て支援ボランティア「パレット」と協働で、乳幼児と保護者を対象に【あそびのお部屋】を開設し、親子遊びや情報交換、育児相談等を通じて、子育ての不安や悩みを軽減しました。 新たに子育てサロンのチラシを作成し、関係機関や団体等に配架したことにより、新しい利用者の確保につなげることができました。 なお、子育てサロンの一部と子育て用品お譲り会は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。 【指標】 サロン開催 月 1 回 子育て用品譲渡会開催 年 1 回

事業名、内容及び実績	成果や課題等
5 ひとり親世帯支援事業 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止	ひとり親世帯(母子・父子家庭等)を対象に、行事の開催を通じて親子のふれあいやひとり親家庭相互の交流を深めることを目的に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。 【指標】 集い等行事実施 年 1 回

内容及び実績	成果や課題等
6 出合いの場づくり事業 (1) 県南広域圏結婚支援関係団体等連絡会議 ※新型コロナウイルス感染症対策のため欠席	県南広域圏において結婚・出産・子育てを支援している団体間の情報交換・意見交換を行う連絡会議に出席予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため出席を見合わせ、当協議会の取組みを情報提供しました。
(2) 婚活イベントの開催 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止	結婚活動の支援として男女の出合いの場を提供することを目的に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。 【指標】 イベント実施 年1回 各団体との意見交換会

(4) 生活困窮者等に対する包括的支援と対応の強化

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 生活困窮者自立支援事業 (自立相談支援、家計改善支援、就労準備支援、子どもの学習支援、自立相談支援機能強化) 【市委託事業】 ① 暮らしの自立支援センターきたかみ設置 主任相談支援員1名、相談支援員兼就労支援員3名、学習相談支援員1名、アウトリーチ相談支援員1名 ② 相談者実数：400名 ③ 相談申込（同意）者数：118名 ④ プラン策定者数：37名（再プラン4名含） ⑤ 相談方法及び内容 ※詳細はP43参照	年齢や属性に関わらず広く相談に対応し、個別のケースに応じて包括的・継続的な支援を行いました。また、新たに自立相談支援機能強化事業を受託し、積極的にアウトリーチ活動を行い、支援が必要な方の把握を行いました。 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う相談も多数ありましたが、関係機関と連携しながら相談対応にあたることができました。 複雑かつ多くの課題を抱えた世帯からの相談や長期にわたり継続的な支援が必要な世帯が増加していることから、今まで以上に相談体制や関係機関との連携・強化を行います。
西和賀町生活困窮者自立支援事業 (自立相談支援) 【県委託事業】 ① 相談支援員1名 ② 相談者実数：20名 ③ 相談申込（同意）者数：1名 ④ プラン策定者数：3名 ⑤ 相談方法及び内容 ※詳細はP44参照	西和賀町に居住する生活困窮者の自立の促進を支援するため、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施しました。 なお、業務の一部を西和賀町社会福祉協議会に再委託し、暮らしの自立支援センターきたかみ相談支援員と連携を図りながら、きめ細やかな支援に努めました。 今後も、支援を必要とする方を広く把握するため、事業の周知やアウトリーチ活動を積極的に行い、生活困窮者の自立に向けて包括的・伴走型の支援を行います。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 フードバンク運営事業 ① 寄付件数：263件（うちフードポスト60件） ② 提供件数：221件 ※詳細はP45参照 2-1 物品貸出 ① 貸出件数：17件 ② 貸出内容：携帯電話、カセットコンロ、電気ポット、電気ストーブ等	当協議会相談者のうち、緊急に食料支援が必要な生活困窮者等の世帯に対して支援を行い、食の確保や自立に向けた意欲の向上を図ることができました。 また、ひとり親世帯等を対象としたフードパントリーの実施、市内で活動している子ども食堂への食料提供等を行いました。 ライフラインが一時的に停止している相談者に対して、必要物品を貸出しし、生活支援を行いました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
3 子どもの学習支援事業（まるまる学び塾） 【市委託事業】 ① 開催回数：37回 ・毎月第1及び第3木曜日17:00～19:00 ・毎月第2及び第4土曜日10:30～14:30 ・夏休み及び冬休み各5日10:30～14:30 ② 会 場：北上市生涯学習センター ③ 登録者数：23名（小学生14名、中学生9名） ③ 参加者数：延べ253名 ④ ボランティア活動人数：延べ191名 ⑤ それぞれの進路相談会 ・期 日：3年11月13日（土） ・会 場：北上市生涯学習センター ・参加者：24名 （生徒2名、保護者10名、講師など関係者12名） ※詳細はP45参照	家庭の事情や経済的な理由等で学習する環境が十分でない子どもたちを対象に、学習支援ボランティアの協力を得て学習支援と学習の場（居場所づくり）の提供を行いました。 新型コロナウイルス感染症対策により中止した回は、つながりを絶やさないよう世帯訪問活動を行いました。 また、子どもの学習支援事業の開催日にあわせて、進学・就職など様々な進路があることを紹介し進路選択の一助となるよう、進路相談会を実施しました。 【指標】 定期開催実施 週1回 長期休業中実施 年2回

事業名、内容及び実績	成果や課題等
4 地域まるまる食堂（子ども食堂）事業 ① 開催回数：7回 ② 会 場：北上市生涯学習センター ③ 参加者数：延べ128名 （小学生48名、中学生5名、保護者等8名、一般14名 ボランティア53名） ④ 内 容：あそびの時間、まなびの時間、食堂開設 ※詳細はP46参照	学習支援事業にあわせて「地域まるまる食堂」（子ども食堂）を実施しました。また、子ども食堂の開設に係る相談にも随時対応しました。 新型コロナウイルス感染症対策として、一堂型の食事を弁当の配付に変更するとともに、地域の方々には参加を自粛していただくなど対策を講じながら実施しました。 【指標】 月1回実施

事業名、内容及び実績	成果や課題等
5 たすけあい資金貸付事業 ① 貸付状況：32件、 589,000円 ② 償還状況：63件、 554,000円 ③ 貸付残高：63件、1,487,000円 ※詳細はP46参照	低所得世帯等に生活費や応急的な費用を無利子で貸付けしました。 生活困窮者自立支援事業と連携を図るとともに、フードバンク運営事業とあわせ迅速かつ効果的に対応しました。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
6 生活福祉資金貸付事業 (実施主体：岩手県社協、相談窓口：当協議会) ① 貸付状況： 416件、153,626,000円 ※うちコロナ特例貸付 396件、135,720,000円 ② 償還状況：延べ3,614件、 27,330,283円 ③ 貸付残高： 1,488件、638,015,043円 ※詳細はP47～50参照	低所得世帯等に対して、修学資金や生活費等の資金を低利子(一部無利子)で貸付けしました。 昨年度から実施された、新型コロナウイルス感染症の影響により生活資金が必要な方々に対する特例貸付についても、相談者の状況に応じて相談対応を行いました。 なお、資金借受世帯のうち自立支援が必要な世帯については、生活困窮者自立支援事業と連携しながら支援を行いました。

基本目標 4 暮らしやすい地域環境づくり

- 地域福祉活動応援事業では、地域福祉を推進する先進的な活動等を行う団体に対して助成を行い、地域福祉活動を応援しました。
- 災害ボランティアセンター事業では、「災害ボランティアセンター設置・運営に係る研修訓練」の実施により、センターの設置運営方法や関係機関との連携方法等について確認をし、職員の資質向上を図ることができました。

(1) 子どもからお年寄りまで地域で生活するうえでの環境面の不安の解消と、安心して過ごせるまちづくり

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 支え合いマップ作成事業 ① 作成済地区：23地区	地域で見守りが必要な要援護者と地域内の社会資源等との関わりが一目で分かるようマップの作成を支援しています。 今後も、マップを作成する利点や活用方法を周知するとともに、作成したマップの更新作業を支援します。

事業名、内容及び実績	成果や課題等
2 救急医療情報キット配布事業 【市委託事業】 ① 新規対象世帯数：234世帯 うち配布世帯数：166世帯(配付率70.9%) ② 新規一人暮らし対象世帯数：305世帯 うち配布世帯数：195世帯(配付率63.9%) ※配布世帯数累計（平成26年度～令和3年度） 3,416世帯	高齢者等への緊急時の迅速かつ適切な医療活動を円滑に実施するため、新たに対象となった市内の70歳以上の一人暮らし高齢者等にキットを配布しました。また、前回の配布以降に新たに一人暮らしとなった高齢者への配布も行いました。 配布にあたっては、福祉協力員が民生委員児童委員の協力をいただきながら実施し、世帯状況の把握や支援の必要性等の情報収集も兼ねて行いました。 なお、北上市において事業の見直しが行われ、福祉協力員を通じた一人暮らし高齢者世帯への配布は、令和3年度をもって終了しました。 【指標】 令和5年度までに3,400個配布（市目標値）

事業名、内容及び実績	成果や課題等
3 買い物支援事業 市内の買い物に係る事業者等の一覧作成	買い物支援を行う事業者等を一覧に整理していますが、最新の情報に更新ができておらず、配布・活用に至りませんでした。今後は、定期的に情報更新を行い活用につなげます。 また、社会福祉法人連絡会分科会で、今後の買い物支援の手法等を検討・研究します。 【指標】 本格実施

内容及び実績	成果や課題等
4 ふれあい移送サービス事業 ① 移送車両：3台 (車いす搭乗2台、回転シート1台) ② 利用登録者数：153名 ③ 利用人数：延べ299名 ④ 運転ボランティア人数：延べ294名 ⑤ 介助ボランティア人数：延べ0名 ⑥ 新規ボランティア登録人数：4名 ※詳細はP51 参照	既存の公共交通機関を利用できない高齢者や身体障がい者等に通院の移送サービスを提供し、生活支援を行いました。 今後も、サービスを必要とする方が利用できるよう周知を図るとともに、ボランティアの確保に努め、安定した事業運営を行います。 【指標】充足率100%

事業名、内容及び実績	成果や課題等
5 あんしん生活応援講座 様々な不安を抱えながら生活する一人暮らし高齢者、高齢者夫婦世帯に対し、不安を少しでも解消できるよう、必要な情報(介護保険や各種サービスの利用方法、遺言や相続等)を提供する講座を開催し、生活を応援します。	ふれあいデイサービス等での試行実施を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。 市の出前講座の充実や当協議会出前講座のメニューにより代替が可能であることから、当応援講座は廃止しました。 【指標】実施回数 年4回

事業名、内容及び実績	成果や課題等
6 地域福祉活動応援事業 ① 助成団体：1団体(新規1団体) ・特定非営利活動法人わらずば ② 助成金額：100,000円	地域福祉を推進する先進的な活動や地域の新たな福祉課題に取り組む活動等を行う団体に対して助成を行い、地域福祉活動を応援しました。 継続3団体及び新規1団体への助成を予定していましたが、応募に関する相談はあったものの、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、最終的には申請のあった新規1団体に対して助成を行いました。 必要とする地域・団体等に活用いただけるよう更に広報やホームページ等で周知を行い、事業の認知度向上を図るとともに先進的な活動の発掘を行います。 【指標】6団体助成(600,000円)

事業名、内容及び実績	成果や課題等
7 災害ボランティアセンター事業 ① 広域市町村ネットワーク連絡会議の実施 ・内 容：各機関・団体における災害対応の取組みについて ※新型コロナウイルス感染症対策のため書面で情報共有 ② 災害ボランティアセンター設置・運営に係る研修訓練の実施 ・期 日：3年9月4日（土） ・会 場：北上市総合福祉センター ・参加者：28名 ・内 容：災害ボランティアセンター設置・運営訓練	災害ボランティアセンターに係る平時及び災害時の役割分担、連携・協働の在り方を確認及び協議するとともに、平時から関係機関及び団体の「顔の見える関係」のネットワークを構築し、様々な取組みを円滑に行うことを目的に「広域市町村ネットワーク連絡会議」を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため書面で情報共有を行いました。 また、「岩手県総合防災訓練」が当市を会場に開催されたことから、これにあわせて「災害ボランティアセンター設置・運営に係る研修訓練」を実施しました。この研修訓練の実施により、災害ボランティアセンターの設置から運営までの流れ、運営時の留意点等を共有し、職員の資質向上が図られました。 なお、「岩手県総合防災訓練」の一環で当センターを会場に「福祉避難所開設・運営訓練」が実施され、今後の災害ボランティアセンターとの連携方法や開設・運営に係る体制整備等を確認する一助となりました。 【指標】 設置・運営訓練実施 災害発生時の職員派遣

(2) すべての人が、支援が必要な人を理解することができる地域づくり

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 社協出前講座（病気及び障がい理解編） ① 派遣回数：9回 ・小学校：7回 ・一 般：2回 ② 参加人数：延べ305名 ③ 体験用具の貸出し：4回 ・小学校：4回	北上市出前講座のメニューに病気及び障がい理解編の講座を登録し、学校や団体等からの要請に対応しています。 小学生には、障がいを持つ方への接し方等について講義を行い、障がい者に対する理解を深めることができました。 【指標】 派遣25回、参加人数延1,100名

5 地域福祉を推進するための基盤づくりの強化

- 理事会及び評議員会等の各種会議開催を通じて、地域課題や事業等に対する意見等を聞きながら、その改善に努め、更なる経営の活性化に努めました。
- 北上市社会福祉法人連絡会に参画し、地域における公益的な取組みに向けた協議を進めました。
- 福祉関係者・団体、民間の福祉サービス提供事業者及び行政機関と協働、協力を得ながら地域福祉を推進しました。
- 当協議会の事業を推進するため、市内各世帯等から会費や寄付の協力をいただき、事業の推進や運営に活用しました。
- 当協議会設立30周年記念に当たり、設立30周年記念式典の実施と記念誌を作成・発行しました。
- 第4次北上市地域福祉活動計画の中間年に当たり、計画の進捗状況等について中間検証を行いました。

(1) 社会福祉協議会の運営

① 三役会議の開催状況

開催期日及び出席者数	
第1回：3年4月15日（木） 出席者 10名（役員4名、職員6名）	第7回：3年10月15日（金） 出席者 10名（役員4名、職員6名）
第2回：3年5月17日（月） 出席者 10名（役員4名、職員6名）	第8回：3年11月15日（月） 出席者 10名（役員4名、職員6名）
第3回：3年6月15日（火） 出席者 10名（役員4名、職員6名）	第9回：3年12月15日（水） 出席者 10名（役員4名、職員6名）
第4回：3年7月15日（木） 出席者 10名（役員4名、職員6名）	第10回：4年1月17日（月） 出席者 10名（役員4名、職員6名）
第5回：3年8月20日（金） 出席者 10名（役員4名、職員6名）	第11回：4年2月15日（火） 出席者 10名（役員4名、職員6名）
第6回：3年9月15日（水） 出席者 9名（役員4名、職員5名）	第12回：4年3月7日（月） 出席者 10名（役員4名、職員6名）

② 理事会の開催状況

開催期日	議題及び協議事項
第1回 ・3年5月27日（木） ・出席者 理事12名 監事3名	(1) 令和2年度北上市社会福祉協議会事業報告について (2) 令和2年度北上市社会福祉協議会一般会計収支決算について (3) 北上市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について (4) 新型コロナウイルスワクチン接種に係る和賀町総合福祉センターの使用について
第2回 ・3年6月17日（木） ・出席者 理事10名 監事3名	(1) 北上市社会福祉協議会会長の選定について (2) 北上市社会福祉協議会副会長の選定について (3) 北上市社会福祉協議会常務理事の選定について (4) 北上市社会福祉協議会福祉サービス事業に関する苦情解決第三者委員の選任について (5) 北上市社会福祉協議会福祉基金運営委員の委嘱について

開催期日	議題及び協議事項
第3回 ・ 3年8月26日（木） ・ 出席者 理事11名 監事3名	(1) 第30回北上市民福祉大会被表彰者の決定について (2) 北上市社会福祉協議会設立30周年記念感謝状被表彰者の決定について (3) 令和3年度歳末たすけあい募金「まごころ応援金」の配分について (4) 北上市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について
第4回 ・ 3年10月28日（木） ・ 出席者 理事10名 監事3名	(1) 北上市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について
第5回 ・ 3年12月16日（木） ・ 出席者 理事10名 監事3名	(1) 北上市社会福祉協議会職員の給与規程の一部改正について (2) 北上市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について
第6回 ・ 4年3月17日（木） ・ 出席者 理事11名 監事3名	(1) 北上市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について (2) 北上市社会福祉協議会職員の育児休業及び育児短時間勤務規程の一部改正について (3) 北上市社会福祉協議会職員の介護休業及び介護短時間勤務規程の一部改正について (4) 北上市社会福祉協議会暮らしの自立支援センターきたかみ設置運営規程の一部改正について (5) 令和3年度北上市社会福祉協議会一般会計収支補正予算（第1号）について (6) 令和4年度北上市社会福祉協議会事業計画について (7) 令和4年度北上市社会福祉協議会一般会計収支予算について

③ 評議員会の開催状況

開催期日	議題及び協議事項
第1回 ・ 3年6月17日（木） ・ 出席者 評議員17名 理 事4名 監 事3名	(1) 令和2年度北上市社会福祉協議会事業報告について (2) 令和2年度北上市社会福祉協議会一般会計収支決算について (3) 北上市社会福祉協議会理事の選任について (4) 北上市社会福祉協議会監事の選任について
第2回 ・ 4年3月24日（木） ・ 出席者 評議員13名 理 事4名 監 事2名	(1) 北上市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について (2) 北上市社会福祉協議会職員の育児休業及び育児短時間勤務規程の一部改正について (3) 北上市社会福祉協議会職員の介護休業及び介護短時間勤務規程の一部改正について (4) 北上市社会福祉協議会職員の給与規程の一部改正について (5) 北上市社会福祉協議会暮らしの自立支援センターきたかみ設置運営規程の一部改正について (6) 令和3年度北上市社会福祉協議会一般会計収支補正予算（第1号）について (7) 令和4年度北上市社会福祉協議会事業計画について (8) 令和4年度北上市社会福祉協議会一般会計収支予算について

④ 監事会の開催状況

開催期日	監査内容
第1回 ・ 3年5月20日（木） ・ 出席者 監事3名 理事4名	(1) 令和3年3月末日における北上市社会福祉協議会事業執行状況並びに一般会計執行状況について (2) 令和2年度北上市社会福祉協議会事業報告並びに一般会計収支決算について
第2回 ・ 3年8月26日（木） ・ 出席者 監事3名 理事4名	(1) 令和3年6月末日における北上市社会福祉協議会事業執行状況並びに一般会計執行状況について
第3回 ・ 3年11月25日（木） ・ 出席者 監事3名 理事4名	(1) 令和3年9月末日における北上市社会福祉協議会事業執行状況並びに一般会計執行状況について
第4回 ・ 4年2月24日（木） ・ 出席者 監事3名 理事3名	(1) 令和3年12月末日における北上市社会福祉協議会事業執行状況並びに一般会計執行状況について

⑤ 評議員選任・解任委員会の開催状況

開催期日	議題及び協議事項
第1回 ・ 3年5月31日（月） ・ 出席者 委員5名 事務局3名	(1) 北上市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員長の互選 (2) 北上市社会福祉協議会評議員の選任について
第2回 ・ 3年9月6日（月） ・ 出席者 委員5名 事務局3名	(1) 北上市社会福祉協議会評議員の選任について
第3回 ・ 3年11月11日（木） ・ 出席者 委員5名 事務局3名	(1) 北上市社会福祉協議会評議員の選任について
第4回 ・ 4年1月13日（木） ・ 出席者 委員4名 事務局3名	(1) 北上市社会福祉協議会評議員の選任について

⑥ 支部長会議の開催状況

開催期日及び出席者数	
第1回：3年4月15日（木）	出席者 35名（支部長13名、役職員22名）
第2回：3年5月17日（月）	出席者 35名（支部長13名、役職員22名）
第3回：3年10月18日（月）	出席者 27名（支部長13名、代理1名、役職員13名）
第4回：4年2月25日（金）	出席者 28名（支部長12名、役職員13名）

⑦ 職員会議の開催状況

開催期日及び出席者数					
第1回：3年4月15日（木）	出席者	29名	第7回：3年10月15日（金）	出席者	30名
第2回：3年5月17日（月）	新型コロナウイルス感染症対策により中止		第8回：3年11月15日（月）	出席者	30名
第3回：3年6月15日（火）	出席者	33名	第9回：3年12月15日（水）	出席者	28名
第4回：3年7月15日（木）	出席者	32名	第10回：4年1月17日（月）	出席者	33名
第5回：3年8月20日（金）	出席者	26名	第11回：4年2月15日（火）	出席者	29名
第6回：3年9月15日（水）	出席者	27名	第12回：4年3月7日（月）	出席者	26名

(2) 社協支部活動運営費の助成（単位：円）

支部名	支部運営費	福祉協力員 活動費	小地域ネットワーク事業費		合 計
			ふれまち	住民グループ	
黒沢尻北	693,000	28,000	22,800	714,315	1,458,115
黒沢尻東	648,000	36,000	10,200	792,911	1,487,111
黒沢尻西	567,000	33,000	69,400	582,981	1,252,381
立 花	234,000	9,000	23,600	100,302	366,902
飯 豊	667,000	31,000	64,250	454,031	1,216,281
二 子	303,000	13,000	10,000	191,193	517,193
更 木	169,000	13,000	14,900	160,897	357,797
黒 岩	161,000	8,000	10,900	122,681	302,581
口 内	197,000	17,000	6,800	98,662	319,462
稲 瀬	151,000	6,000	64,100	140,005	361,105
相 去	541,000	22,000	17,200	802,723	1,382,923
鬼 柳	375,000	16,000	10,900	291,720	693,620
江 釣 子	690,000	32,000	6,000	529,363	1,257,363
和 賀	876,000	69,000	42,000	1,208,366	2,195,366
合 計	6,272,000	333,000	373,050	6,190,150	13,168,200

(3) 総合福祉センター等の管理及び運営

内容及び実績	成果や課題等
① 北上市総合福祉センター ・利用件数：1,025 件 ・利用者数：15,676 名 ② 和賀町総合福祉センター ・利用件数：370 件 ・利用者数：8,539 名 ※詳細はP51～52 参照	北上市及び和賀町総合福祉センターは当協議会の事務所となっているほか、住民主体の地域福祉活動の拠点として貸出ししています。また、ボランティア団体や趣味の会等の活動の場としても多様に利用されています。 施設管理にあたっては、使用料金の見直しを行い、適正な管理運営や経費の節減に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症対策として、利用者に対するマスク着用、手洗い、手指消毒等を徹底し、感染防止に努めました。 和賀町総合福祉センターは、5月から9月の期間の一部を新型コロナウイルスワクチン集団接種会場として貸出し・協力しました。 両センターとも経年による建物の修繕及び改修について、費用の確保等の検討が必要です。

(4) 社会福祉法人連絡会の組織化

内容及び実績	成果や課題等
1 幹事会 (1) 第1回幹事会 ① 期 日：3年8月5日（木） ② 会 場：北上市総合福祉センター ③ 参加者：市内社会福祉法人14法人、24名 ④ 内 容： ・令和3年度事業計画の確認について ・代表幹事の選出について ・分科会所掌事務について ・メーリングリストの作成について (2) 第2回幹事会 ① 期 日：4年3月9日（水） ② 会 場：北上市総合福祉センター ③ 参加者：市内社会福祉法人14法人、19名 ④ 内 容： ・令和3年度事業報告について ・令和3年度収支決算見込について ・会員の加入について ・会員会費について ・令和4年度事業計画（案）について ・令和4年度収支予算（案）について ・令和4年度総会の日程について	多様化及び複雑化する地域課題や社会福祉に関するニーズに対応するため、各法人の取組みや専門性を活かしながら、法人間の連携や協働体制の強化を図り、地域における公益的な取組みを実施し、市民の福祉向上や地域福祉を更に推進することを目的に北上市社会福祉法人連絡会が組織化され、当協議会も参画しています。 当連絡会には、北上市内に事業所を有する全ての社会福祉法人（17法人）が参画し、事務局は当協議会が担っています。 幹事会及び分科会を開催し、当連絡会の取組みの方向性や事業計画等の協議を行いました。

内容及び実績	成果や課題等
2 分科会 (1) 全体会議 ① 期 日：3年10月22日（金） ② 会 場：北上市総合福祉センター ③ 参加者：市内社会福祉法人14法人、28名 ④ 内 容： ・北上市社会福祉法人連絡会設立までの経過について ・分科会所掌事務について (2) 地域課題研究分科会 ① 会議開催回数：14回 ② 内 容： ・リーダー選出 ・地区ごとの打合せ会 ・地区リーダー打合せ会 (3) 人材育成・サービス向上分科会 ① 会議開催回数：2回 ② 内 容： ・リーダー選出 ・アンケート調査の実施 (4) 総務及び広報活動分科会 ① 会議開催回数：2回 ② 内 容： ・リーダー選出 ・広報誌及びホームページ開設の検討 ・会員会費の検討 ・アンケート調査の実施	

(5) 社会福祉協議会会費の納入状況

内容及び実績	成果や課題等
① 一般会費：16,017,400 円（詳細はP53 参照） ② 賛助会費： 606,000 円（303 件） ③ 団体会費： 91,000 円（25 件） ④ 特別会費：1,560,000 円（150 件） 合計 18,274,400 円	市民、福祉団体、企業等に会費の協力をいただくことにより地域福祉活動に参加していただいています。コロナ禍においても、各世帯や法人等から例年同様の協力をいただきました。 当会費は地域福祉向上を図るための貴重な財源であることから、引き続き会費の必要性を理解し協力していただけるよう啓蒙活動を行い、当協議会の認知度の向上を図り、会員を拡大します。

(6) 福祉基金の管理状況等

① 福祉基金運営委員会の開催状況

開催期日及び出席者数
3年7月26日（月） 出席者 8名

② 福祉基金等の寄付及び助成実績

内容及び実績	成果や課題等
- 福祉基金 寄付件数：0件 - 一般活動 寄付件数：33件 寄付金額：1,077,645円（現金1,048,418円） （物品 29,227円） ※詳細はP52参照	広く寄付を募り、頂戴した寄付金は学習支援事業や地域まるまる食堂に係る運営費など地域福祉活動に役立てました。 また、物品は当協議会事業等に活用し、福祉の増進に役立てています。 【参考】 ←金額換算（マスク1,200、米4,991、タオル30、タオル14、水性ペンセットなど2,191、消毒液スタンド8,800、アルコールジェル12,000）

助成先（団体名）	助成内容	助成金交付 決定額（円）	助成額（円）
北上市老人クラブ連合会	高齢者福祉事業	50,000	0
北上市ボランティア連絡協議会	サークル交流研修会事業	43,000	0
北上市母子寡婦福祉協会	会員等落語講談鑑賞事業	15,000	15,000
北上市手をつなぐ育成会	障がい者健康増進事業	40,000	5,000
ボランティアサークルつばさ	歌のつばさ福祉施設等の慰問事業	10,000	10,000
傾聴ボランティアきたかみ	傾聴活動スキルアップ及び広報事業	50,000	33,000
合計（助成交付決定6団体、助成4団体）		208,000	63,000

※新型コロナウイルス感染症対策等に伴い、事業中止2団体、事業変更（減額）2団体

③ 福祉基金積立額等（単位：円）

	2年度末 現在高	3年度 積立額	3年度末 現在高	3年度 利金額	備考
一般福祉基金	184,960,934	0	184,960,934	2,941,125	
地域福祉基金	75,481,309	0	75,481,309	960,160	うち福祉団体に 63,000円を助成
合計	260,442,243	0	260,442,243	3,901,285	

(7) 赤い羽根共同募金運動の実績 ※詳細はP54参照

① 一般募金の実績 (単位：円)

目標額	11,290,000
実績額	12,135,844
達成率	107.5%

実績額内訳

戸別募金	7,907,894
法人募金	2,775,704
街頭募金	209,121
学校募金	535,003
職域募金	411,993
その他	296,129

② 歳末たすけあい募金の実績 (単位：円)

目標額	3,271,000
実績額	3,145,251
達成率	96.2%

実績額内訳

戸別募金	2,267,725
法人募金	380,000
その他	497,526

③ 歳末たすけあい募金「まごころ応援金」の配分実績 (単位：円)

区分	配分件数(件)	配分金額
ねたきり高齢者がいる世帯	4	24,000
重度心身障がい者(児)がいる世帯	92	552,000
支援を必要とする世帯	189	1,134,000
合計	285	1,710,000

(8) 設立30周年記念事業の実施

事業名、内容及び実績	成果や課題等
1 記念式典 (1) 期 日：3年11月22日(月) (2) 会 場：さくらホール(大ホール) (3) 参加者：360名 (4) 感謝状：19名・18団体 ① 会長、副会長及び常務理事に就任 8名 ② 理事に10年以上就任 1名 ③ 支部長に10年以上就任 2名 ④ 各種委員会委員長等に10年以上就任 7名 ⑤ 寄付者・団体 1名・18団体 2 記念誌の発行 300部作成し、関係機関に進呈 ※祝賀会は新型コロナウイルス感染症対策のため中止	当協議会は、皆様に支えられ設立30周年を迎えました。第30回北上市民福祉大会を記念事業として位置づけ、設立30周年記念式典をあわせて実施し、当協議会の運営等に功績のあった個人及び団体に感謝状を贈呈し感謝の意を表しました。 また、30年の歩み等を記録した記念誌を作成し、関係機関に配布しました。 記念式典を市民福祉大会とあわせて実施したことにより、広く市民の皆様に対して、30周年の節目の感謝や今後一層の発展・決意をお知らせすることができました。

(9) 地域福祉活動計画の推進

内容及び実績等
第4次北上市地域福祉活動計画の中間年に当たることから、計画期間前半の取組みを中間検証し、計画の見直しや新たな取組みを行うなど、今後の方向性について検討を行いました。 中間検証の方法として、次のとおり、策定推進委員会の開催をはじめ地域福祉懇談会での意見聴取、市民アンケートを行い、取りまとめ・整理を行いました。 1 地域福祉活動計画策定推進委員会の開催 (1) 第1回 期 日：3年12月14日（金） 会 場：北上市総合福祉センター 出席者：委員20名 内 容：計画の進捗状況の説明 (2) 第2回 期 日：4年3月11日（火） 会 場：北上市総合福祉センター 出席者：委員17名 内 容：計画の中間検証の結果の確認 2 意見聴取の実施 (1) 地域福祉懇談会 ・市内11カ所で開催、延べ参加人数283名 ・参加者アンケート回答数238名（回答率36.2%） ※3支部は新型コロナウイルス感染症感染拡大により中止 (2) 地域福祉に関する市民アンケート ・20歳以上の市民1,300名を無作為に抽出、回答数500名（回答率38.9%） ※今回からインターネットによる回答を実施 (3) グループインタビュー ・関係機関、団体の会員や役員等を中心に口頭又はメールによる聞き取り 5団体 3 会議の開催 (1) 社会福祉協議会事務局会議（8回開催） ・各事業の現況と課題、基本目標ごとにおける総括、今後の在り方等を整理及び検討 (2) 北上市との合同会議（5回開催） ・北上市が策定する地域福祉計画と一体的に計画を推進するため、進捗状況や課題等について整理し、検証結果及び今後の方向性を検討・確認